

松江市立病院MRI検査安全管理ガイドライン

MRI 検査はできません

- 体内電子機器
ペースメーカー 植え込み型除細動器 人工内耳 神経刺激装置 骨成長刺激装置
- 平成 9 年(1997 年)まで使用されていた脳動脈瘤クリップ
- 昭和 45 年(1970 年)まで使用されていた Star-Edward 型の人工弁
- 十字靭帯再建用 Perfix-Interference-Screw
- 眼窩内金属異物(事故などによる)
- 磁力で付着する義眼
- 妊娠中 16 週未満

1.5 T の適応 (3 T は不可)

- 脊椎固定 平成 16 年(2004 年)以前の素材
- 胸骨のワイヤー
- 内視鏡治療(胆管ステント、消化管ステントなど)
- 血管内治療(冠動脈ステントなど)
※留置後 6 か月以内の検査はできません。
- 脳室シャント
※検査に伴って調節が必要であり、脳外科医との連携が必要となります。
- 50 歳以上の認知症の評価
- 日本製以外の避妊リング
※事前に一般撮影で確認します。
- 妊娠中 16 週以降
※3Tでの安全性は未確認です。
- 刺青・パーマネントアイライン
※大きさなどによって身体への影響が変化します。

3Tの適応

- 人工関節、骨スクリュー
※骨に強く固定されているため検査可能です。
- 平成 17 年(2005 年)以降に使用された脊椎固定器具
- 平成 10 年(1998 年)以降に使用された脳動脈瘤クリップ
- 昭和 46 年(1971 年)以降に使用された人工弁
※基本的に3Tでの検査は可能ですが、胸骨ワイヤーが使用されている場合は
1.5Tでの検査となります。
- 50 歳未満の認知症の評価
- 日本製の避妊リング